

唐津コスメティック構想ミニ講座③ ～全国・海外に向けたPR活動～

問 企業立地課
(☎53-7148)

唐津・玄海地域を中心とする、佐賀県に美容・健康産業の集積地をつくることを目指す「唐津コスメティック構想」。今回は、市と同じくコスメ構想を推進するJCCや佐賀県の全国・海外に向けたPR活動を紹介します。

●JCCとIBITA^{イビタ}全国へPR

1月17日～19日、東京ビッグサイトで開催された日本最大規模の国際的な化粧品専門展「COSME Week^{コスメウィーク} 東京」で、昨年2月にJCCと協力連携協定を締結した韓国の化粧品産業団体「IBITA」とJCCが共同でブースを出展しました。ブースでは、JCCの活動や地産原料を使用した化粧品の紹介などが行われ、自然由来の原料に国内外の来場者から注目が集まっていました。

●海外へPR

2月2日、タイでの県産品輸出拡大などを目的に行われた佐賀県のプロモーション活動の一環で、PRレセプションがバンコク市内のホテルで行われました。会場にはコスメ関連のPRブースも出展され、県やJCCの担当者がたくさんの来場者にコスメ構想や地産原料、商品について紹介するなど、にぎやかなレセプションとなりました。



↑タイのコスメティック
ラスター（化粧品産業
団体）とJCC

↑展示された地産
化粧品

これからも関係団体と連携しながら国内外へコスメ構想や地産コスメの情報発信に取り組んでいきます。

唐津コスメティック構想ミニ講座③ ～コスメ原料開発プロジェクト③サインボード設置～

唐津・玄海地域を中心とする、佐賀県に美容・健康産業の集積地をつくることを目指す「唐津コスメティック構想」。

市は佐賀県、玄海町、JCCとともに、ライフスタイルブランド「THREE」を手がける(株)ACRO（ポーラ・オルビスグループ／東京都品川区）と連携し、耕作放棄地を活用したコスメ原料等の開発プロジェクトを行っています。

今回は、鎮西町^{やとこ}八床地区のハーブガーデンでのサインボード（看板）設置や種まきの様子についてお届けします。

●サインボードを設置しました！

今年の2月、八床地区のハーブガーデンの入り口に、(株)ACRO、地元農家の皆さん、JCC、県や市の職員でサインボードを設置しました。これを契機に、地元の皆さんをはじめ、市内外の人にコスメ原料栽培地としての認知度向上を目指します。そのほか、増加予定の農地で栽培する新たな植物の種まきも行いました。これからも地産資源を生かし、持続可能な地域・産業づくりに貢献できるよう取り組んでいきます。



↑(株)ACROと地元農家の皆さん



↑種まきの様子



↑サインボード
ハーブガーデン
「Herb Garden
KARATSU
THREE」

写真：藤本幸一郎さん

☎ 企業立地課(☎53-7148)

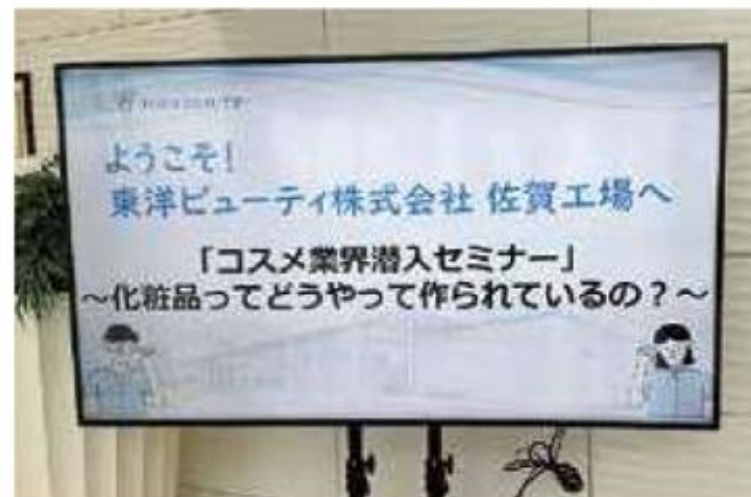
唐津・玄海地域を中心とする、佐賀県に美容・健康産業の集積地をつくることを目指す「唐津コスメティック構想」。

今回は、コスメ業界を知ることができるセミナーが開催されましたので、その様子をお届けします。

●コスメ業界に潜入！

3月25日、神埼市の化粧品受託製造会社で、主に高校生を対象とした、工場見学とコスメ業界に関する特別授業が県主催で開催されました。

工場見学では、見学者用の通路から美容液や乳液などの製造・充填・包装の工程を見学し、ふだん見ることができない化粧品の製造現場に生徒たちは興味津々な様子で質問していました。また、コスメ業界で活躍している若手社員による特別授業では、研究・原料・製造・営業などそれぞれの分野の魅力や、学生



時代に力を入れた体験談に、参加した生徒たちはメモを取るなど、熱心に耳を傾けていました。

市内からの参加者もあり、これを機会に県内でコスメ業界を担う人材が増えることが期待されます。

唐津コスメティック構想ミニ講座③④ ～コスメ原料開発プロジェクト④ 初！学生の定植&収穫作業～

唐津・玄海地域を中心とする、佐賀県に美容・健康産業の集積地をつくることを目指す「唐津コスメティック構想」。

市は佐賀県や玄海町、JCCとともに、ライフスタイルブランド「THREE」を手がける(株)ACRO（ポーラ・オルビスグループ／東京都品川区）と連携し、耕作放棄地の活用などを目的にコスメ原料などの開発プロジェクトを行っています。

今回は、鎮西町のハーブガーデンで行った樹木の定植と、ハーブの初収穫の様子をお届けします。

●定植作業に初めて学生が参加しました！

市はこれまで地元農家の皆さんや(株)ACRO、JCCなどの関係者と一緒にコスメ原料となる植物の定植を行っていましたが、今年4月には初めて佐賀大学の学生が、定植作業に参加しました。佐賀大学では昨年、(株)ACROによるコスメ産業学の特別授業も行われていて、県内でコスメ産業に関心を抱く学生が増えていくことに期待しています。



↑佐賀大学の学生との定植作業の様子

●初めての収穫を行いました！

5月には地元農家の皆さんを中心に、昨年定植したローズマリーなどのハーブを初収穫しました。初めての経験に全員が慎重に枝葉をせん定していましたが、植物のさわやかな香りに包まれていくうちに、スピードアップして収穫することができました。収穫したハーブは、成分分析などを経て、製品化への検討が開始されます。



↑収穫作業の様子。ハーブの枝を切るとさわやかな香りが広がります。



↑たくさんのハーブを収穫できました。

☎ 企業立地課(☎53-7148)

唐津コスメティック構想ミニ講座③⑤ ～唐津コスメパークとコスメ関連企業～

問 企業立地課
(☎53-7148)

唐津・玄海地域を中心とする、佐賀県に美容・健康産業の集積地をつくることを目指す「唐津コスメティック構想」。
今回は、浜玉町の「唐津コスメパーク」と、市内に進出したコスメ関連企業を紹介します！

●唐津コスメパークとコスメ関連企業

浜玉町浜崎には、もともと化粧品の輸入代行・検査分析会社、OEM（受託製造）会社、物流会社からなるミニ集積地がありましたが、近年原料商社とパッケージ印刷会社が新たに加わり合計5社になりました。現在は、コスメティック構想のはじまりの地「唐津コスメパーク」という愛称で、企業間での連携も新たに生まれ、持続可能な経済循環型の社会を目指しながら、約200人が働いています。

また、市内ではほかにも化粧品の原料加工・製品製造や香水製造を行う企業などが進出しました。市では、これからも市内のコスメ関連企業や関係機関と協力しながら、コスメ産業や地元産業の振興に取り組んでいきます。

※求人中の企業があります。
コスメ業界に興味がある人や働いてみたいと思う人は、お問い合わせください。



(株)クレコス
(原料加工製品製造・OEM)

東亜製薬(株)
(化粧品製造・OEM)

(有)ルズ
(香水製造・OEM)



唐津・玄海地域を中心とする、佐賀県に美容・健康産業の集積地をつくることを目指す「唐津コスメティック構想」。

今回は、化粧品の知識を深めることができる化粧品関係の検定について、紹介します。

●日本化粧品検定(コスメ検定)

日本化粧品検定は（一社）日本化粧品検定協会主催、文部科学省後援の検定試験です。化粧品に関する幅広い知識を身につけることができる内容で、平成25(2013)年の検定開始以降、受検者は年々増加し、美容関連の職種以外の人でも年齢・学歴を問わず挑戦しています。

●化粧品成分検定

化粧品成分検定は（一社）化粧品成分検定協会主催の、化粧水などの化粧品に記載されている成分の情報や、パッケージに記載されている情報を正しく理解しているかを測る検定です。成分表示を読み解くことで、自分の肌質にあっているかどうかを判断し、安全で安心な化粧品を選ぶ力を身につけることができます。

美容業界での就職や転職、キャリアアップのほか、毎日使う化粧品の効果的な使用方法や選択の幅を広げる化粧品関係の検定にチャレンジして化粧品の知識を深めてみてはいかがでしょうか。

※受検方法や日時などは、各検定のホームページを確認してください。

化粧品関係の検定は、このほかにもあります。



唐津・玄海地域を中心とする、佐賀県に美容・健康産業の集積地をつくることを目指す「唐津コスメティック構想」。今回は、大学生ボランティア団体が古くから「椿の島」として有名な加唐島で行った、ボランティア活動の様子を紹介します。

●加唐島でのボランティア活動

鎮西町加唐島では約4万5千本のヤブツバキが自生していて、その椿の実から採取される油は化粧品の原料としても使用されています。8月9日から11日までの期間、加唐島の椿園で（一社）ジャパン・コスメティックセンター会員企業のカネダ(株)（油・化学品専門商社／東京都）が、大学生のボランティア団体らとともに約10人で、草刈りなどのボランティア活動を行いました。

参加した学生たちは、作業前に地元住民からレクチャーを受け、猛暑のなか熱中症やケガなどに注意しながら、慎重に椿周りの除草作業などを行いました。ボランティア活動を通して、市内外の学生に加唐島の椿産業を知ってもらうとともに、秋の収穫時期を前に島民の皆さんが椿の実を取りやすい環境にすることができました。

作業前のレクチャー



草刈り中



唐津産素材使用のコスメ紹介 ツバキ油（加唐島）



①TBKパーム



②加唐島ツバキ
ヘアオイル

※JCCポップ
アップギャラ
リー（呉服町
商店街）で取
り扱い中

唐津コスメティック構想ミニ講座③⑧ ～地産素材活用連携及び進出協定締結～

問 企業立地課
(☎53-7148)

唐津・玄海地域を中心とする、佐賀県に美容・健康産業の集積地をつくることを目指す「唐津コスメティック構想」。市は佐賀県、玄海町、JCCとともに、ライフスタイルブランド「THREE」を手がける株式会社ACRO（ポーラ・オルビスグループ/東京都）と連携し、耕作放棄地などを活用したコスメ原料の開発プロジェクトを行っています。

●(株)ACROと進出協定締結！

(株)ACROは現在、鎮西町八床地区で地元農家の皆さんの協力のもと、コスメ原料になるハーブを栽培しています。



× T H R E E

このハーブを使ったコスメの商品化に向けて、収穫したハーブから精油を抽出する蒸留所を呼子町に建設することが決まりました。市と(株)ACROは、8月に「地産素材活用連携及び進出協定」を締結し、締結した協定に基づき、今後も地産素材原料の活用や蒸留所の建設などが円滑に行われるよう相互協力を行います。

新設される蒸留所は、令和7(2025)年4月以降に操業開始予定で、地元雇用のほかにハーブの収穫体験や蒸留所でのイベントなども計画されています。今後、市内企業との協業や新たな仕事の派生など、唐津の地域経済活性化へのさらなる貢献が期待されます。



唐津産素材使用のコスメ紹介

③豆乳石けん

(市内豆腐店の豆乳発酵液と加唐島産ツバキ油を使用)



※JCCポップアップギャラリー(呉服町商店街)で取り扱い中

唐津・玄海地域を中心とする、佐賀県に美容・健康産業の集積地をつくることを目指す「唐津コスメティック構想」。

今回は、市内の高校生が加唐島^{かからしま}で行った椿の実の収穫作業についてお届けします。

●椿の実収穫作業！

鎮西町加唐島には約4万5千本のヤブ椿が自生し、椿の実から搾油したツバキ油は成分分析の結果、非常に良質とされていて、化粧品の原料としても活用されています。そのツバキ油^{まなじや}を使って化粧品を開発している市内の起業家が、唐津商業高校の生徒たち(※からつ学美舎)と毎年行っている椿の実の収穫作業に同行してきました。

参加した生徒たちは、地元住民から椿の実の取り方のコツを教わり、大自然の恵みをたくさん受けた椿の実をコンテナいっぱい^{まなじや}に収穫していました。また、収穫作業後の地元住民との交流の中で、疑問に思ったことを積極的に質問したり、島の課題解決に向けてどのようにすればよいか意見を出し合っていました。



※「からつ学美舎」…唐津商業高校が主催するショッピングモールで、平成21年12月にオープン。モールの運営や商品開発など生徒たち自身で行っています。



◀からつ学美舎
Instagram

唐津産素材使用コスメ紹介コーナー

TBK
ナチュラルスキン
ローション
(素材：ツバキ油)



まち
松ゆらる
うるオレン
麗Orange
化粧石けん
(素材：ツバキ油)



※JCCポップアップギャラリー(呉服町商店街)で取り扱い中

唐津コスメティック構想ミニ講座④0 ~SAGAn BEAUTY WEEKEND 2024~

●SAGAn BEAUTY WEEKEND 2024開催！

美と健康をテーマとしたイベント「SAGAn BEAUTY WEEKEND 2024」が、昨年11月にくすかぜ広場・ARKS（佐賀市）で開催されました。毎年好評のこのイベントは、平成30（2018）年度から開催されていて、今年は『一人ひとりの美しさ』をテーマにワークショップやマルシェ、美容系動画クリエイター鹿の間さんのトークショーなどが行われました。

ワークショップでは、唐津コスメティック構想の推進組織である「（一社）ジャパン・コスメティックセンター（JCC）」も出展し、唐津で化粧品原料として栽培しているローズマリーと季節の植物を使ったスワッグ※づくり体験を行いました。JCCからスワッグづくりのポイントを伝授された参加者は、植物に触れ、香りを楽しみ、世界に一つしかないすてきなスワッグを作成していました。

※ドイツ語で「壁飾り」の意味で花や葉、実などの植物を束ねて壁にかける飾りのこと。



企業立地課コスメティック産業系の公式Instagramを開設しました！

最新の活動を発信していますので、市民の皆さんのフォローをお待ちします。

急募!!



☎ 企業立地課 (☎53-7148)

上場地区でコスメ原料素材の栽培農家さんを募集中！

興味がある人は、企業立地課にお問い合わせください。

唐津・玄海地域を中心とする、佐賀県に美容・健康産業の集積地をつくることを目指す「唐津コスメティック構想」。

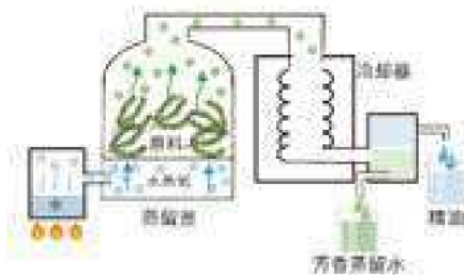
化粧品の原料としても知られる精油は、さまざまな用途で自然の香り効果により気分をリラックスさせてくれるものですが、どのように抽出されるか知っていますか？

●精油(エッセンシャルオイル)の主な抽出方法

精油は、花や葉、果実などから抽出した天然の芳香成分で、同じ植物でも抽出方法などで成分や香りが違ってきます。抽出方法にはいくつかの方法がありますが、代表的な精油の抽出方法をご紹介します。

水蒸気蒸留法

ハーブなどの芳香植物を蒸留釜に入れて、下から水蒸気を送り込み、芳香成分が含まれた水蒸気を冷却することで水と分離し、精油が抽出される仕組みです。分離された水には、香り成分と微量の精油が残っていて芳香蒸留水と呼ばれ、ルームスプレーなどに利用されます。



唐津産素材使用コスメ (美容健康食品) 紹介コーナー

素材名「モリンガ」



粉末タイプ 茶(ティーバッグ) 錠剤タイプ

※JCCポップアップギャラリー(呉服町商店街)で
取り扱い中です。

あっさく 压榨法(コールドプレス)

主にオレンジやレモンなどの柑橘系果実の果皮に機械などで圧力をかけ、絞りだした液体をフィルターなどでろ過し、精油を抽出する方法です。压榨法は、熱による影響を受けないため、自然のままの香りを取り出せるメリットがあります。

